

衣類のニオイや黄ばみを重視するヒトが増えているせいか、洗剤メーカーから、多種多様なタイプの洗剤や柔軟剤が市場に投入されている、

洗濯機の内槽に汚れや洗剤カスが付着しやすくなる。汚れはカビに変わる。

そのため、洗濯機メーカーは自動槽洗浄機能を持たせている。

槽洗浄においては、つけおき工程を含み、12時間程度かかるのが一般的であるが、そのため、突然、夜間や早朝にモーター回転や排水が始まって、騒音で近隣に迷惑をかけてしまうことがあった。

そのため、槽洗浄しようと思うと、マニュアルとにらめっこして、時間を計算する必要があり、もっと気軽に洗浄したいという声も多い。

夜間や早朝にモーター回転や排水が行われる場合に警告を発することを特徴とした自動運転槽洗浄を備えた洗濯機。

特に集合住宅で暮らすヒトが多くなっている昨今、騒音が原因でトラブルが起こる可能性を排除したいというニーズはますます高まっている。

また、槽洗浄だけではなく、洗濯においても、つけおき工程を入れてやると、洗剤の能力を最大限に引き出し洗濯効果が高くなる。

そのため、つけおき工程を含む自動洗濯機能を有する洗濯機も多く、この場合も、槽洗浄のときと同様に、騒音が原因でトラブルが起こる可能性があり、それを排除したいというニーズがある。

消費者が気付いていない、潜在的なニーズであるも、周知されるようになると、洗濯機購入の際、その機能の有無が選択の必須要件になる。

ここでのキャッチコピーは、つけおけばニオイ無しで真っ白のシャツ。